

議会運営委員会からの報告

12月6日

「議会活性化の取り組みについて～その6～」

平成28年度最後の第4回井戸ばた会議を12月6日ハビネスで開催しました。

この日の天候は吹雪で誰も来てくれないので、誰も心配しましたが、悪条件のなか多くの町民の方が参加され開催することができました。

前回同様に留意点と井戸ばたでのマナーを意識していただきよう、最初にお願いしており、留意点は「町民のみなさんの声には多様性があり、真逆のご意見を同時にお聴きする場合もあること等

てについて」このテーマを中心に皆さんから意見をいただきました。

今後も井戸ばた会議ではテーマを設けて行いますがテーマにこだわることなく町に対する意見、要望、アイデア等をお聞かせください。

また、お出かけ「議会との対話」にも取り組みも進めていきたいと考えております。



・フッ化物洗口の実施に関する意見

・保護者同意の説明が不十分。

・副作用などデメリットの説明も必要と思う。

・副作用の認識を学校、教員が共有すること。

・虫歯予防以外の目的が徹底していない。

・フッ化物洗口は必要なと思う。

・幼児センターは行事が多い。自由時間を増やしてほしい。

・外遊び、森遊びを増やしてほしい。

・バスター・ミナルに多目的トイレが必要ではないか。

・うどん祭り会場でのトイレ案内が不十分で、もっと丁寧にやってくれるとよい。

・リサイクルセンターを設置し、スキー、靴、自転車等再利用するシステムがあると良い。

・農協の石倉庫等の既存の建物を活用し保管施設を設置できないか。

・モレビーに軽食サービスがあるといい。

・小学校の男子トイレの悪臭等改善を。

・インフルエンザによる百日の祝いは出生の届け出時点で贈る方がいいと思う。

・予防接種、予防ワクチンなどの意見

・子供たちはいろんな予防接種、予防ワクチンをして副作用等の将来が心配。説明と多くの情報があるとよい。

・3歳児健診から就学児健診までの間の健診がない。発達障害の早期発見の有効性を考えて、5歳児健診を実施してほしい。

・インフルエンザによる百日の祝いは出生の届け出時点で贈る方がいいと思う。